

輝け！シン尾花沢中

第 8 3 号

令和 7 年

9 月 9 日

伸びよとさそう 常若の ああ尾花沢中学校

少年の主張出場 3 年：加藤美結さん

9 月 3 日（水）の少年の主張尾花沢大石田大会で優秀賞となり、最北大会に出場した加藤美結さんの発表内容を紹介します。



「政治」って、遠いものですか？

皆さんは、最近の参議院選挙にどれくらい関心を持っていましたか？

7 月 3 日から 20 日にかけて行われた参議院選挙では、さまざまな政党の候補者たちが、物価高や教育、経済政策などの課題について公約を掲げ、有権者に訴えていました。

今回の全国の投票率は 58.51%。前回より 6 ポイント以上上がりました。特に、若者の投票率が大きく伸びていたことが注目されています。私はこのニュースを見て「若い人たちが、自分の未来を自分の手で選ぶとしているんだ」と強く感じました。

そんな中で、ある政党の候補者が語った言葉が、私の心に残りました。

「経済活動も大事だし、グローバル化は止められない。しかし、その中でバランスを取りながら、国民の生活をしっかり守るのが、我々の『日本人ファースト』に込めた思いだ。」

この言葉に、私はハッとしました。

政治って難しそうだし、なんだか遠い世界のことのようには思っていますが、私たち一人ひとりの暮らしに直結しているんだ、と気づいたのです。

「日本人ファースト」と聞くと、最初は「外国の人を排除する考えかな？」と不安に感じるかもしれませんが、でも、そうではなく「自分たちの文化や生活を大切にしながら、多様な価値観も尊重する」という考え方なのだと知り、少し安心しました。

今の日本には、多くの外国の方々が暮らしています。私の近所にも、さまざまな国の人たちが住んでいて、スーパーに行けば外国の食材が並び、地域のお祭りでは異国の料理が出されることもあります。

私が通う中学校の前には、毎朝ランニングをしているジョンさんという外国の方がいます。すれ違うときに「Good morning!」と笑顔であいさつしてくれるその姿に、私は元気をもらっています。違いがあっても、あいさつを交わし、互いに認め合える関係はすご

く素敵だと思うのです。

だからこそ私は「日本人ファースト」という言葉を、誰かを排除するものではなく「自分たちの良さを守りながら、共に暮らしていく方法を考えよう」というメッセージだと受け取りたい。

政治に関心を持つことは、決して難しいことではありません。選挙のニュースを見て「なぜこの人が当選したんだろう？」「この政策って、自分の生活にどう関係あるのかな？」と考えること。それが、社会に目を向ける第一歩になると思います。

もちろん、私たち中学生はまだ投票権を持っていません。けれど「投票できないから関係ない」と思っていたら、いつまで経っても社会は他人事のまです。

いつか 18 歳になって投票用紙を前にしたとき「自分の考え」を持っている人と、「よく分からないけど何となく」の人とでは、大きな違いがあると思います。

だからこそ、今のうちから、少しでも政治や社会に目を向けることが大切だと思うのです。

選挙に限らず身の回りのことにも関心を持つてほしい。学校のルール、地域の課題、気候変動、ジェンダー、福祉……社会には、私たちに関係のある問題がたくさんあります。

そして、私は、こんなふうに考えます。

「未来の日本を作るのは私たち自身なんだ」と。

今の日本には、たくさんの魅力があります。安全でおいしい食べ物があって、街は清潔で、人は親切。だからこそ「今の日本が好き」と言えるようにしたい。

その気持ちが、政治や社会に関心を持つ原点になるのではないのでしょうか。

未来を変えるのは、特別な誰かじゃない。私たち一人ひとりで。

皆さんもぜひ、ニュースに目を向けてみてください。そして、自分の意見を持ってください。

日本の未来を、共につくっていきましょう。

私も、政治や社会について深く考えさせられる内容でした。【文責：校長 工藤雅史】